

## 堺市子ども読書活動推進計画をめぐる現状

### ○国の動向

- 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（令和元年 6 月）  
障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に寄与することを目的とし、視覚障害者等が利用しやすい書籍の普及や、障害者向けサービスの提供体制の強化等が規定された。
- GIGA スクール構想（令和元年 12 月）  
学校において、1 人 1 台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、資質・能力をより一層育成できる教育環境を実現することを目的とした構想が示された。
- 第 6 次学校図書館図書整備等 5 か年計画（令和 4 年 1 月）  
全ての公立小中学校等において、「学校図書館図書標準」の達成をめざすと同時に、計画的な図書の更新、学校図書館への新聞の複数紙配備及び学校司書の配置拡充を図ることを定めている。
- こども基本法（令和 4 年 6 月）  
全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現をめざし、こども政策を社会全体で総合的かつ強力で推進することを目的とし、こども等の意見の反映などについて定めている。
- 第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（令和 5 年 3 月）  
全ての子どもたちが読書活動の恩恵を受けられるよう、①不読率の低減、②多様な子どもたちの読書機会の確保、③デジタル社会に対応した読書環境の整備、④子どもの視点に立った読書活動の推進の 4 点に考慮して策定。

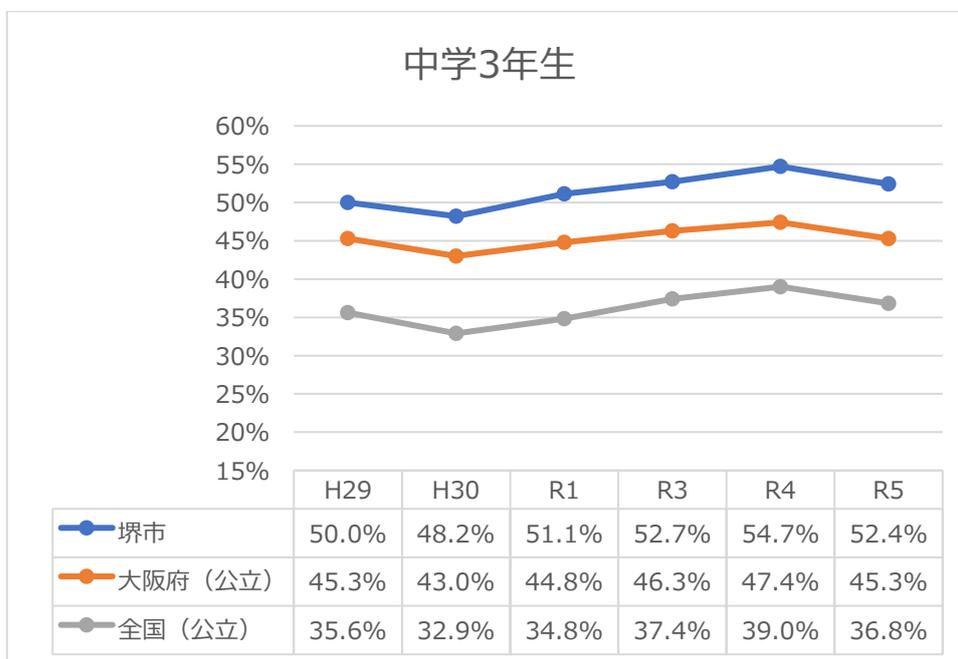
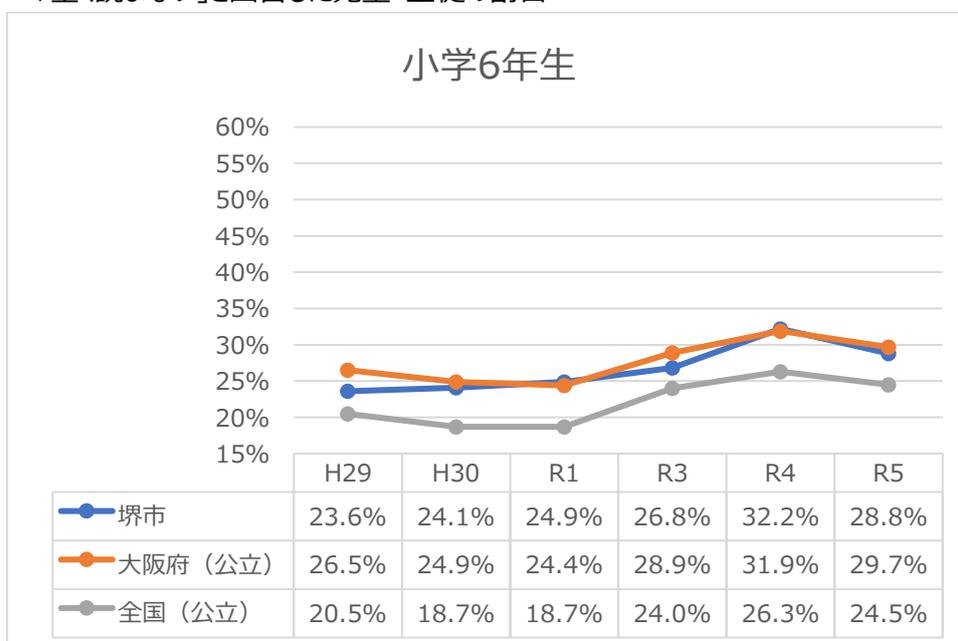
### ○子どもの読書活動を取り巻く現状

- 学校の授業時間以外に普段まったく読書をしない児童・生徒の割合（不読率）は全国的に増加傾向にあり、堺市も例外ではない。一方で、「読書が好き」と回答した児童・生徒の割合はほとんど変化がない。（「全国学力・学習状況調査」文部科学省）（図表 1、2）
- 読書をしない理由として「読書をする時間がない」「読みたいと思う本がない」「本を読むのがめんどろ」と回答した子どもの割合が高い。また、「本を読むのがめんどろ」と回答した子どものうち、約 3～4 割が「文字を読むのが苦手」とも回答している。（「令和元年度大阪府子ども読書活動調査」大阪府）
- 興味・関心にあわせた読書経験が多い人ほど、小中高を通じた読書量が多い傾向にある。また、小中の読書量は高校時の読書習慣の定着に寄与していると考えられる。（「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究報告書」国立青少年教育振興機構（令和 3 年））

- 本を読む大切さを伝えている保護者の子どもほど、読書時間が長い傾向がある。また、小学校入学前に保護者から読み聞かせしてもらった子どもは、その後の読書時間が長く、読書時間が長い子どもは、その後も継続して読書量が多い傾向があるという。（「子どもの読書行動の実態」ベネッセ教育総合研究所（令和 5 年））
- 子どものインターネットの平均利用時間は増加しており、平成 30 年度と比較して令和 5 年度は小学生が約 1.9 倍、中学生と高校生が約 1.7 倍。内容としては動画視聴やゲームの割合が学校種を問わず高い。（「青少年のインターネット利用環境実態調査」内閣府）（図表 3、4）
- 電子書籍を「読んだことがある」児童生徒の割合は学年とともに増加し、小学 4 年生で 25%程度、高校生は 55%程度となっている。（「第 68 回学校読書調査報告」全国学校図書館協議会（令和 5 年））（図表 5）

○図表 1

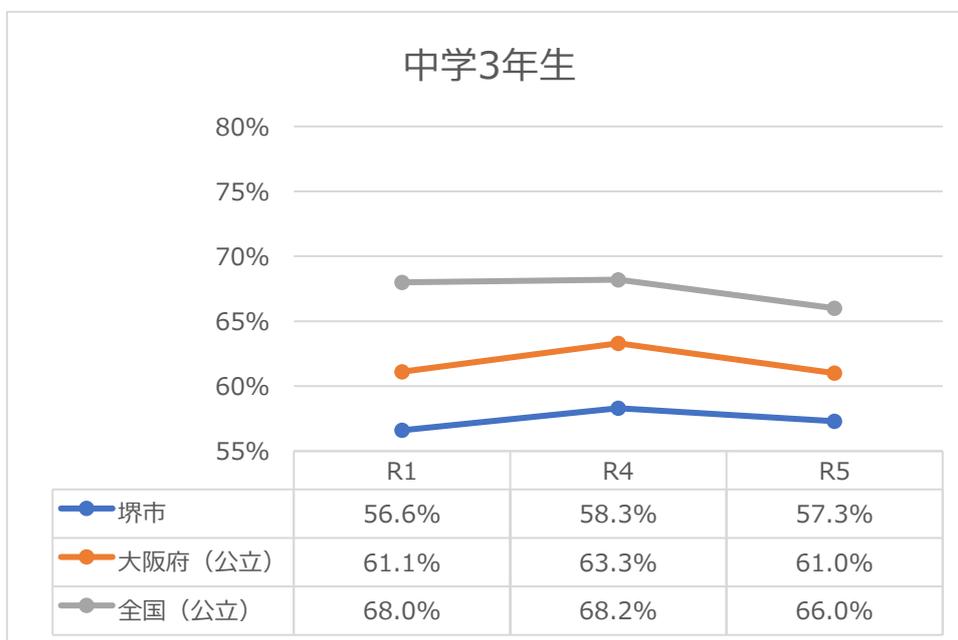
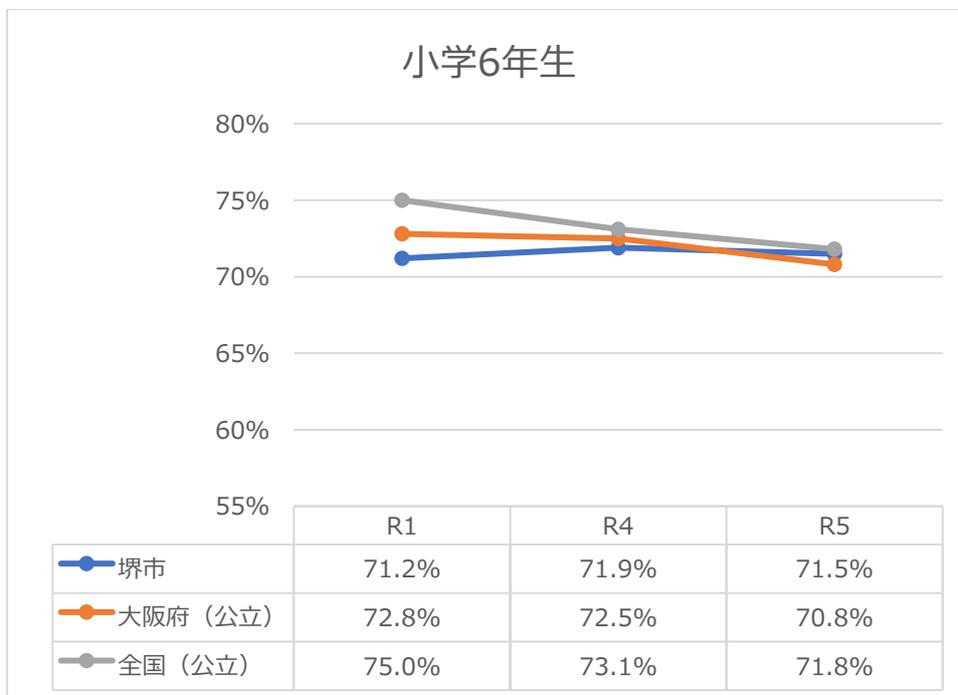
「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」という質問に対し、「全く読まない」と回答した児童・生徒の割合



出典：「全国学力・学習状況調査」文部科学省 ※令和2年度は実施なし。

○図表 2

「読書は好きですか」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の割合



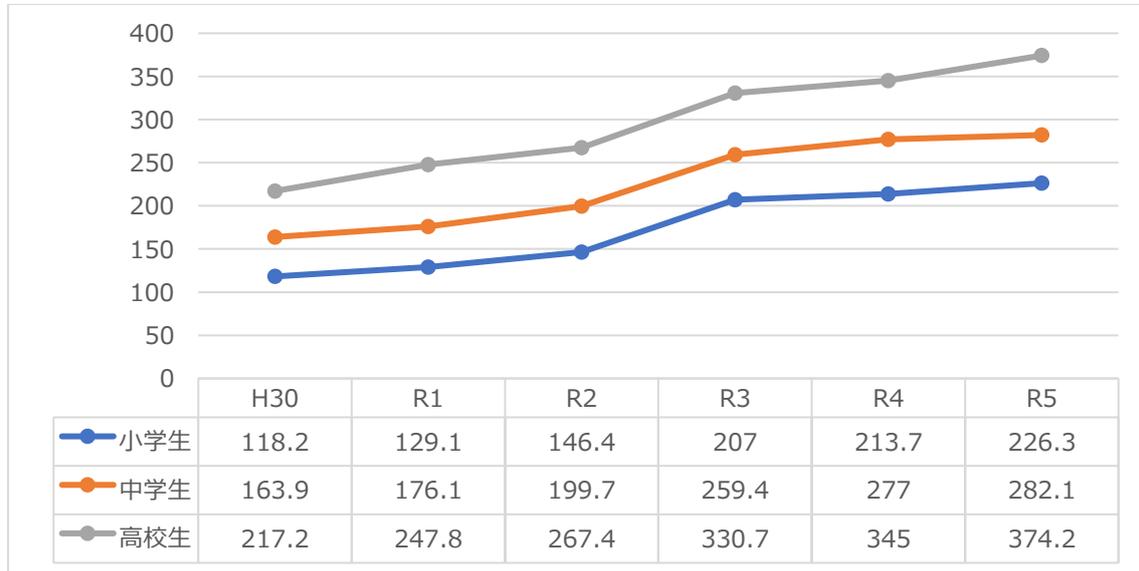
出典：「全国学力・学習状況調査」文部科学省

※令和 2 年度実施なし、令和 3 年度は質問項目なし

○図表 3

インターネットの利用時間（平均・分）

調査対象：11月1日現在で、満10歳から満17歳の青少年

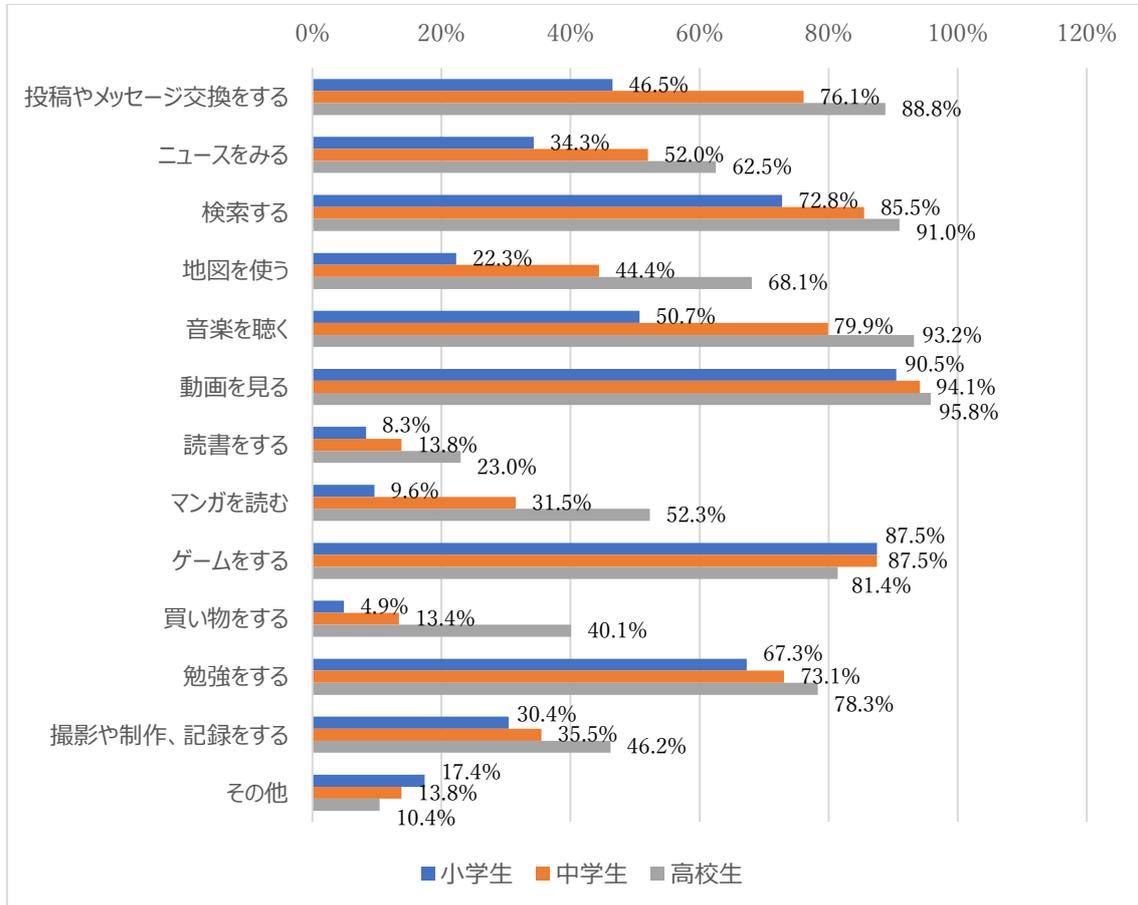


出典：「青少年のインターネット利用環境実態調査」内閣府（R4 まで） 子ども家庭庁（R5 から）

○図表 4

## インターネットの利用内容 (R5)

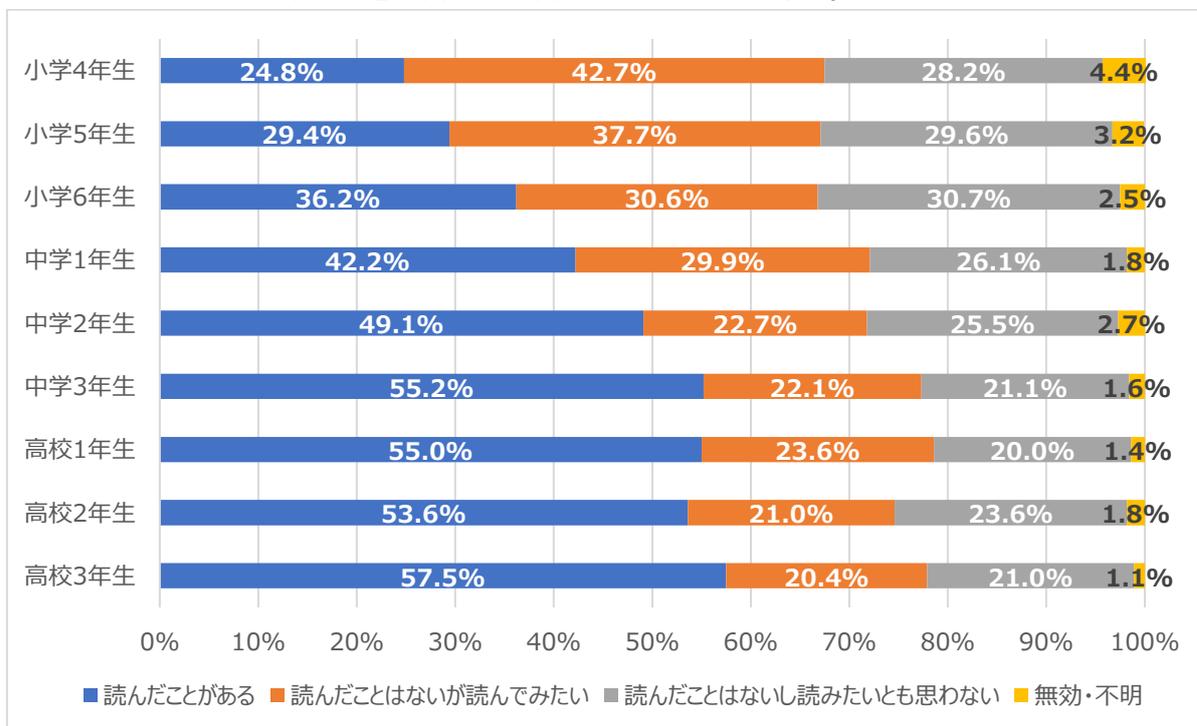
調査対象：11月1日現在で、満10歳から満17歳の青少年



出典：「青少年のインターネット利用環境実態調査」子ども家庭庁

○図表 5

スマホやタブレットなどを使って電子書籍の読書をしたことがあるか (R5)



出典：「第 68 回学校読書調査報告」全国学校図書館協議会 令和 5 年